

緊急

チェルノブイリ救援・中部理事一同からの寄付の依頼

寄付の緊急のお願いです

当団体は、みなさまからの寄付金と助成金のおかげ様で、1990年から28年間活動を継続してこれてきました。本当にありがとうございます。今年度も、なんとか、ギリギリの資金状態で終えられる見込みです。

ただし、今年度は当初予算の段階で、「ウクライナへの支援金と業務委託費の減額(前年度よりも約95万円の減額)」をしています。さらには、下半期に予定していた「ウクライナへの派遣事業の中止(85万円)」や「手紙プロジェクトの減額(20万円)」(全体で約200万円の事業費の減額)をすることで、運営資金ギリギリで今年度を終える予定です(残金0円)。これらの措置で運営資金が間に合わない場合には、さらに管理費(おもに人件費)の削減も考えています。

原発事故の影響は、残念ながら長く続きます。ウクライナも、福島も、まだまだいろいろな形で支援が必要と考えています。できることならば、今しばらく当団体の活動を継続して、ウクライナと福島の支援をしていきたいと願っています。また、福島で継続的に実施してきている「放射線量の測定および汚染マップ作成プロジェクト」により、最も大切と思われる現状把握を続けていきたいと考えています(土壌の放射線量測定は今年度から正式に始めさせて頂きました)。

いつもお願いばかりで大変恐縮ですが、みなさまからの支援をたよりにさせて頂いて、活動をしています。頂きました支援金(寄付金、助成金)は、ウクライナや福島のために大切にに使わせて頂きます。この窮地を助けて頂きたく、どうぞよろしくお願いいたします。

理事一同

今年度末までに必要な予算

(2018.12~2019.3の残り4ヶ月間)

- ◆クリスマスカード事業・・・約15万円
- ◆福島原発被災者支援事業・・・約80万円
- ◆通信誌発行事業・・・約15万円
- ◆イベント関連事業・・・約5万円
- ◆管理費・・・約95万円

合計 210万円

※2018年11月末時点での現預金残高は、約69万円ですので、残り『約140万円』で今年度の活動を無事に終わることが出来ます。
ご支援をどうかよろしくお願いいたします。